

【一問一答】 甲州街道北側のちよこりん・スポット 閉鎖を再検討し、大國魂神社に開設を要請できないか

改修後の府中駅北自転車駐車場等を利用することで理解してもらいたい



▲甲州街道北側のちよこりん・スポット

【一問一答】 結城亮 議員(共産) ル・シ ーニユ内自転車駐車場において、誘導員の業務内容について、利用者の要望に応じ、誘導だけでは、可能な範囲での

【生活環境部長】 改修後の府中駅北自転車駐車場の場等を利用することで理解してもらいたいと考えている。

補助ができないか。生活環境部長 取り決めのない業務の依頼は困難なものとして、指定管理者に対し、誘導員による懇切丁寧な対応に努めるとともに、利用者目線に立った施設運営に心掛けるよう、引き続き指導していく。

【一括質問】

水害時の避難行動が分かる看板等を設置する考えは

正しい避難行動をとるための表示を加えたものに改めていきたい

福田千夏 議員(公明)

平成29年に水防法が改正され、浸水想定区域内の要配慮者利用施設における避難確保計画の作成等が義務付けられたが、改正後における本市の対応について聞きたい。

【生活環境部長】 47か所の表示板のうち、浸水想定区域内の21か所については、水害時における避難場所や避難の方向など、正しい避難行動をとるための表示も加え、分かりやすいものに改めていきたい。

【行政管理局長】 現在、対象となる施設において避難確保計画の作成を支援する準備を進めているところであり、31年度には作成できるよう必要な支援を行っていく。

【議員】 広域避難場所案内表示板について、震災時のものは

【健康支援課】 高齢者肺炎球菌ワクチン接種率向上について

【一問一答】

体育館など冷房設備のない学校施設に冷房設備を設置する考えは

合理的な温度調整の手法について他自治体や企業の手法を参考に調査・研究を進めていく

赤野秀一 議員(共産)

荒川区では熱中症対策として、エアコン設置費の助成が実施されていると聞くが、本市でも同様の施策を実施できないか。

【福祉保健部長】 荒川区では、自宅にエアコンが設置されていない65歳以上の高齢者のみ世帯等を対象に、冷房機器2点までの購入・設置に係る費用について、5万円を上限に助成している。現時点で同様の助成を実施する予定はないが、国や他自治体の動向を注視していきたいと考えている。

【一括質問】

プログラミング教育の必修化 保護者等への周知方法は

「ふちゅうの教育」やホームページ等を活用し周知を図っていきたい

須山卓知 議員(市友)

20年の学習指導要領改訂に伴い、プログラミング教育が必修化されると聞くが、どのような目的で必修化されたのか聞きたい。

【教育部長】 新学習指導要領では、児童がプログラミングを体験しながら、論理的思考力を育む内容となっており、情報を育む内容となっており、情報社会がコンピュータによって支えられていることなどに気づき、身近な問題の解決に主体

【教育部長】 教員については、研修会等の機会に周知を行い、保護者については、「ふちゅうの教育」やホームページ等を活用し、周知を図っていききたい。



▲プログラミング教材を活用した授業

【一問一答】 男女共同参画の推進を掲げる 独立した課を設置すべきでは

人権に対する理解等の啓発は 政策課が全体調整を図っており現在のところ設置する考えはない

田村智恵美 議員(ネット)

平成28年に策定した「女性職員の活躍の推進に関する府中市特定事業主行動計画」では、数値目標を管理的地位にある職員に占める女性の割合のみとしているが、他の目標を掲げなかった理由は、

【政策総務部長】 多くの目標値を設定せず、まずは管理職の割合の向上に注力すること、女性職員全体の活躍の推進を図ることとしている。また、計画の推進に当たっては、全庁を挙げて取り組むものとしている。



【一問一答】

地域での課題解決を支える市民の活躍を期待している

講座修了生に地域課題を解決する

西宮幸一 議員(市友)

地域と市民活動との仲立ちなどを行う、いわゆる中間支援組織の機能が府中NPO・ボランティア活動センターからプラットフォームへ移ったことで、どのような変化があったか。

【市民協働推進部長】 プラットフォームにおいては、積極的に施設機能の周知等を行った結果、平成30年7月末時点で、市民活動団体の登録数が、従来の138団体から354団体へと増加している。また、来場者数も月に1万

【市民協働推進部長】 コーディネーター養成講座つなぎすと府中を実施しており、修了生については、地域団体同士をつなぎ地域力を高めながら、ともに地域課題を解決していくコーディネーターとしての活躍を期待している。

【一問一答】 ヤングケアラーの存在を把握し 支援につなげていくためにはどのようなことが必要と考えるか

当事者へのケアの必要性を十分に心掛けることが重要と考えている

西埜真美 議員(ネット)

子どもや若者が家族の介護を担ういわゆるヤングケアラーの現状について、市はどのような認識を持っているのか。

【子ども家庭部長】 ヤングケアラーの現状は、子ども本人が家族介護を当たり前のことと捉え、学業や生活に影響が出るほどの負担が生じている状況と認識している。

【議員】 困難な状況にあるヤングケアラーの存在を把握し、支援につなげていくためには、どのようなことが必要と考えるのか。

【子ども家庭部長】 子どもにとって身近な住民や学校など、日ごろから接触を持たれている方からの気付きが早期発見に有効であると感じている。

【議員】 このことから、現在実施している定期的な関係機関による調整会議や事例検討会を活用し、ヤングケアラーを見逃さない対策を事例研究として取り上げるなど、当事者へのケアの必要性を十分に心掛けることが重要であると考